

令和3年3月30日

令和2年度 香南市人・農地プラン検討委員会議事録

- 日時：令和3年3月17日（水）10：00～11：15
- 場所：香南市役所 6階（604、605会議室）
- 出席者：
 - 委員 13名
小松靖生、加藤明、近森一夫、西村尚、大崎佳徳、日和崎一弘、立仙裕二、谷間久昭、松村一恵、高橋牧子、溝渕洋介、野島利和、北節子（検討委員会の名簿順）
 - 事務局 5名
小松大洋、寺田大介、児玉亮太、松岡修司、松木克彦
- 開催目的：
 - 1.令和2年度に策定した香南市20地区の人・農地プラン原案の審議
 - 2.委員の任期満了に伴い、香南市から次期検討委員へ委嘱
- 委員会開催要件の確認：

検討委員18名中13名の出席により当委員会の開催要件（委員定数の過半数以上の出席）を満たしていることを確認した。
- 人・農地プラン原案の審議：
 1. 検討委員会小松会長より、本会の目的の確認ならびに議事進行を説明した。
 2. 事務局（香南市農林水産課）より、本年度の人・農地プランの実質化活動履歴を説明し、香南市人・農地プラン原案の作成過程、各地区の営農アンケートの回収状況及び集計結果、各地区会合開催状況について言及した。尚、高知県農業振興局担い手支援課へのプラン提出様式は農業者の個人情報を含むため、地区の会合で使用した様式を使って公表する旨、出席委員より理解を得た。
 3. 上記の説明後、以下の意見陳述および質疑応答が行われた。
 - 【加藤委員】大規模農家に対する補助金や支援はある。その一方、小規模農家は農業経営の採算が悪いにもかかわらず、地域の畦や水路を守る役割を果たしている。人・農地プランでは小規模農家への陽を当てることを忘れないでいただきたい。
 - 【溝渕委員】地区の会合の際に、農業に影響力の大きい地区の農業者が参加していなかったのが残念であった。

(事務局) 今後、農業に影響力の大きい地区の農業者に参加していただくために、どう PR していくかが課題であるとのこと指摘は同感であり、対策を考える。

【近森委員】 農業経営は小規模、後継者もない、集約しようにも便利が悪い(田畑への機械のアクセス等)、集約しても高齢化等で続けられない。いろいろな問題をどうしていくかを考えるのが、人・農地プランである。お金がかからないやり方考えることも重要である。

(事務局) 集約化についても地区会合で話し合い対策を検討する。

【高橋委員】 農地を管理できていないケースを知っているが、土地所有者が自分の土地を年に 1 回でも管理を行えば耕作放棄地が減るのではないか。管理できない人には、シルバー人材センターを紹介する、とかの対応を期待する。各地域が責任をもって田畑を管理していただくことが大事である。

(事務局) 今後は農地の管理方法も含めて、農業関連情報を周知していきたい。

4. 質疑応答の後、香南市人・農地プラン原案の採決を行い出席委員 13 名全員の承認を得た。
5. 令和 3 年度の人・農地プランの活動方針案の中で、令和 2 年度に作成したプランの実施に入っていくこと、効果を確認しながらプランの見直しも可能である旨を事務局より説明した。

■ 令和 3 年度の香南市人・農地プラン検討委員の委嘱と副会長の任命：

1. 令和 2 年度の委員の任期(令和 2 年 3 月 20 日から令和 3 年 3 月 19 日)が満了となるため、現委員の再任という形で次期検討委員へ委嘱状を授与した。(尚、欠席委員については 3 月 23 日郵送対応済。)
2. 小松会長から、日和崎委員を香南市人・農地プラン検討委員会副会長にとの指名があり、日和崎委員が副会長に任命された。

以上